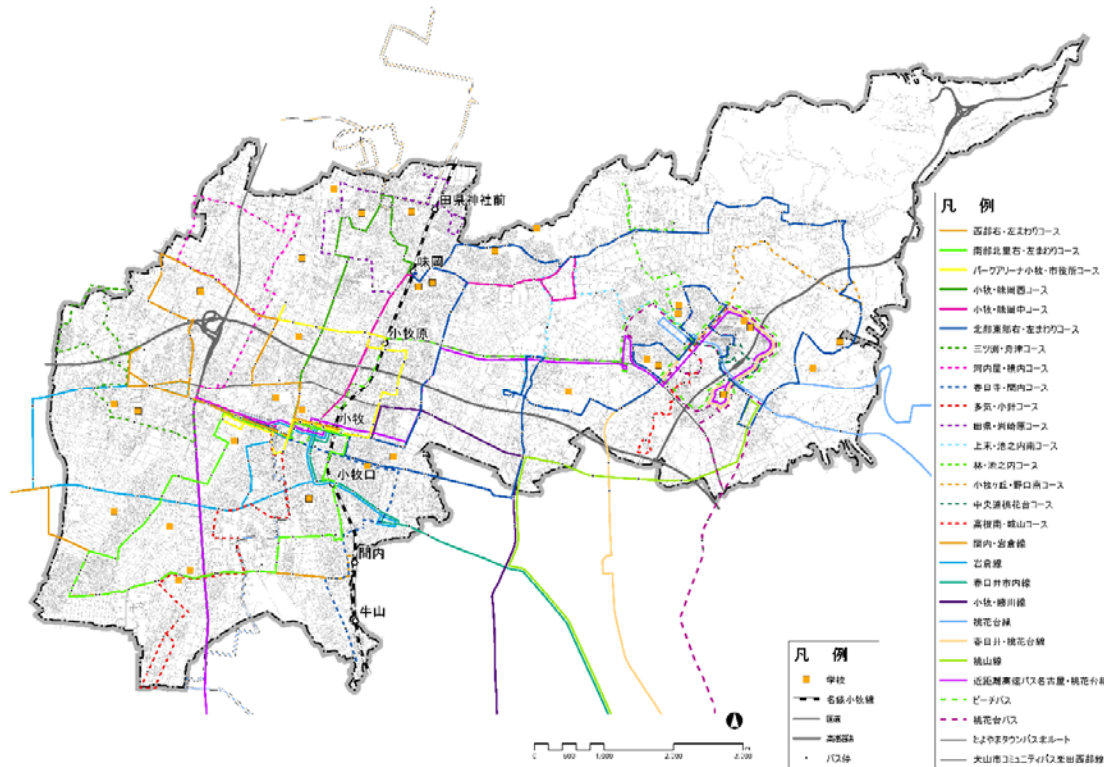


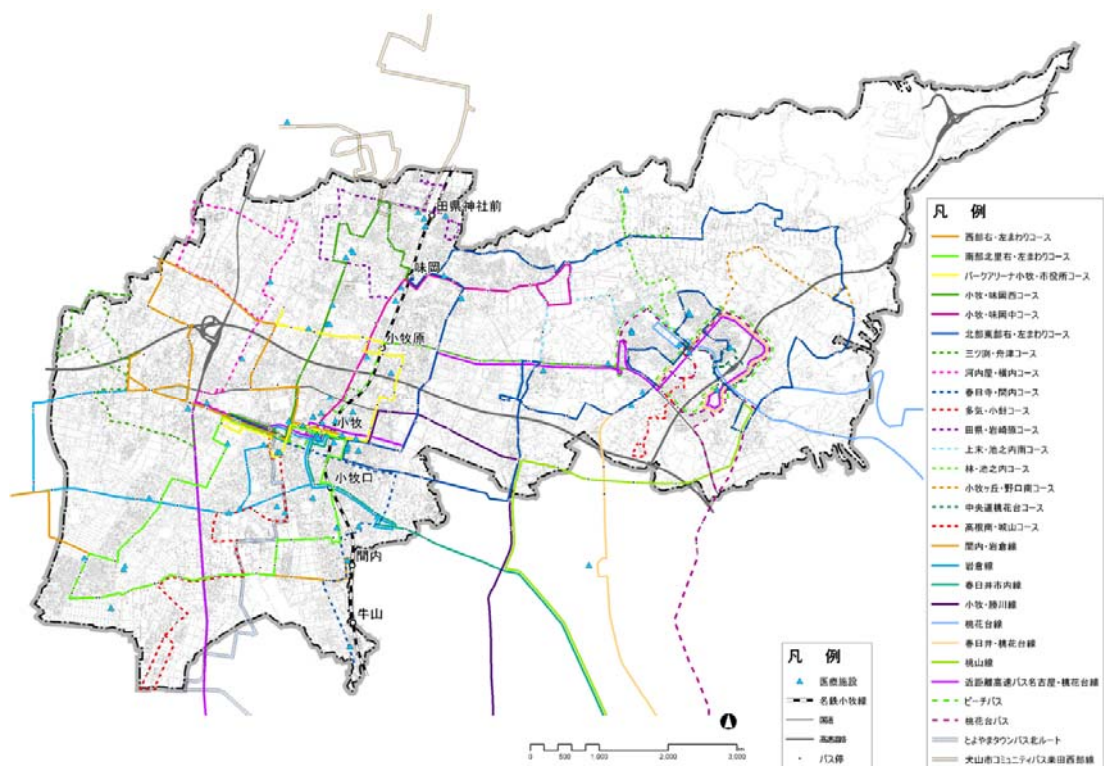
図Ⅱ-3-2 学校の立地と公共交通網



(資料：国土数値情報 (平成 28 年 10 月現在))

※学校：小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校

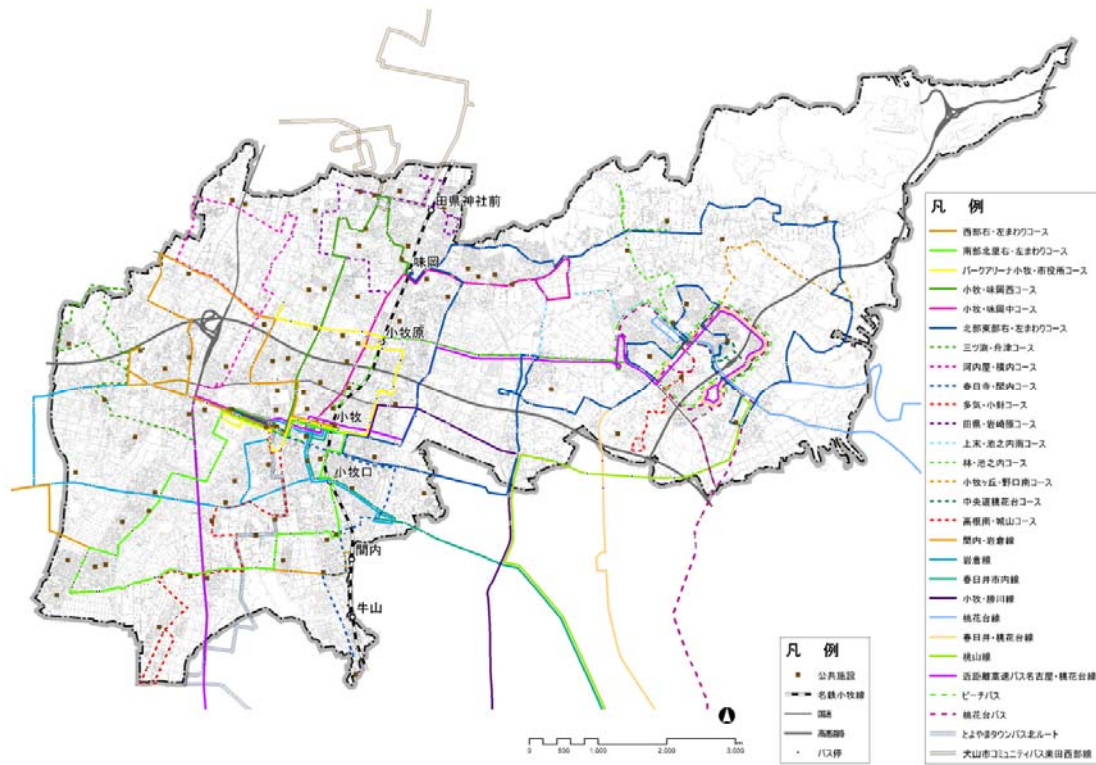
図Ⅱ-3-3 医療施設の立地と公共交通網



(資料：国土数値情報 (平成 28 年 10 月現在))

※医療施設：病院及び診療所

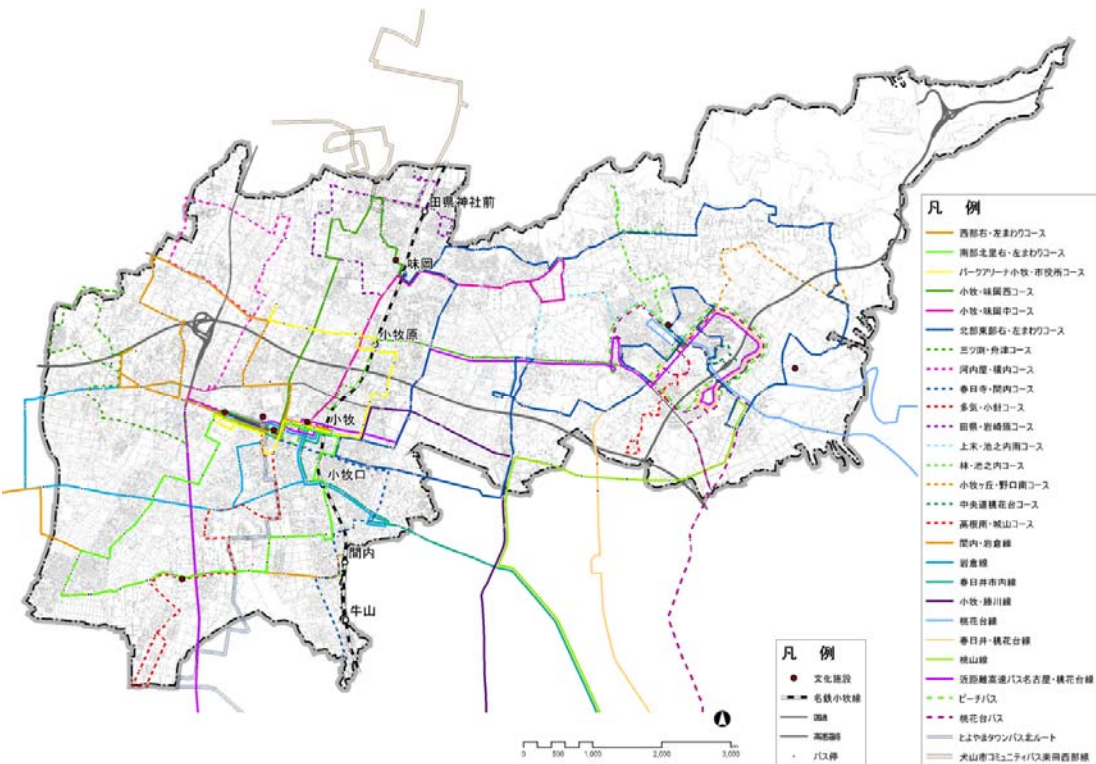
図Ⅱ-3-4 公共施設の立地と公共交通網



(資料：国土数値情報 (平成 28 年 10 月現在))

※公共施設：市役所、支所、会館

図Ⅱ-3-5 文化施設の立地と公共交通網



(資料：国土数値情報 (平成 28 年 10 月現在))

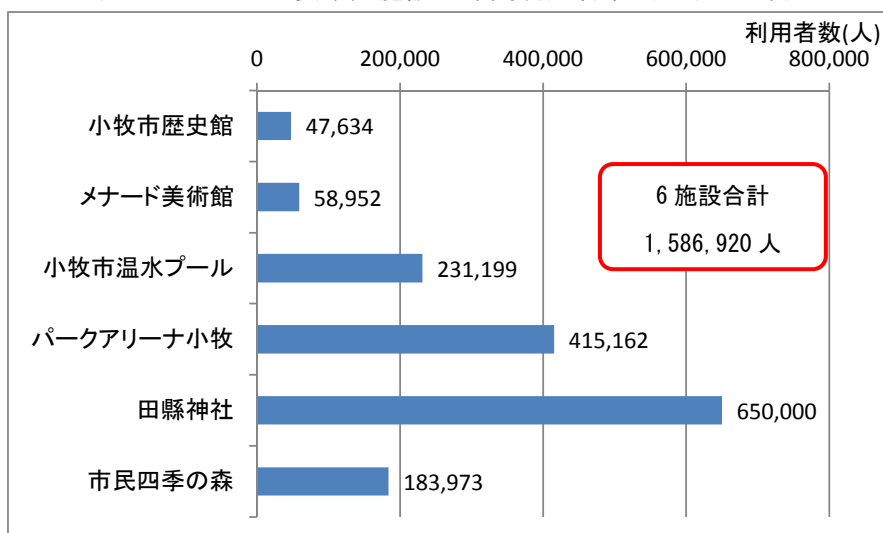
※文化施設：図書館や美術館等

(2) 主要観光施設の利用状況

愛知県観光レクリエーション利用者統計によると、小牧市内の主要観光施設として田縣神社、パークアリーナ小牧、小牧市温水プール等が立地しており、これらの施設の年間利用者数は合計で約159万人となっています。

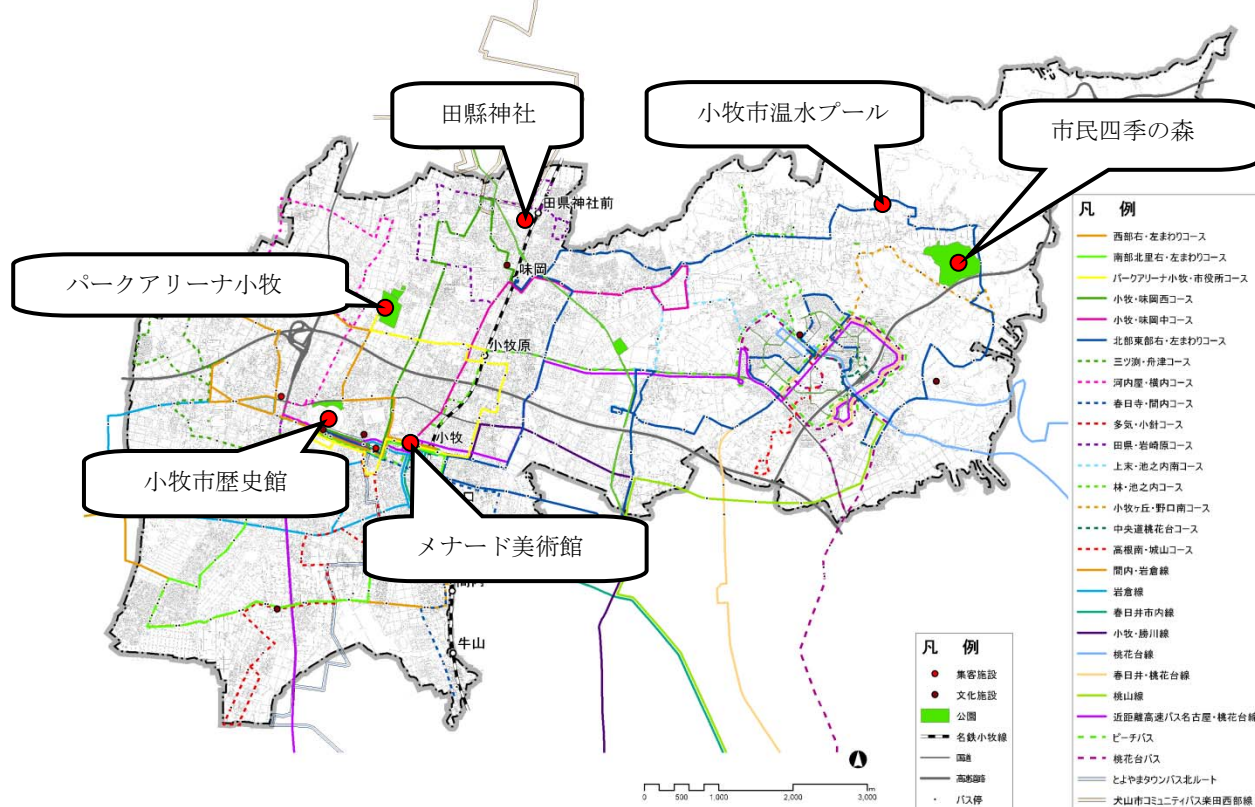
また、これらの主要な観光施設へは名鉄小牧線やこまき巡回バスでアクセスすることができます。

図Ⅱ-3-6 主要観光施設の年間利用者数（平成27年）



(資料：平成27年愛知県観光レクリエーション利用者統計)

図Ⅱ-3-7 主要観光施設と公共交通網



(資料：国土数値情報（平成28年10月現在）)

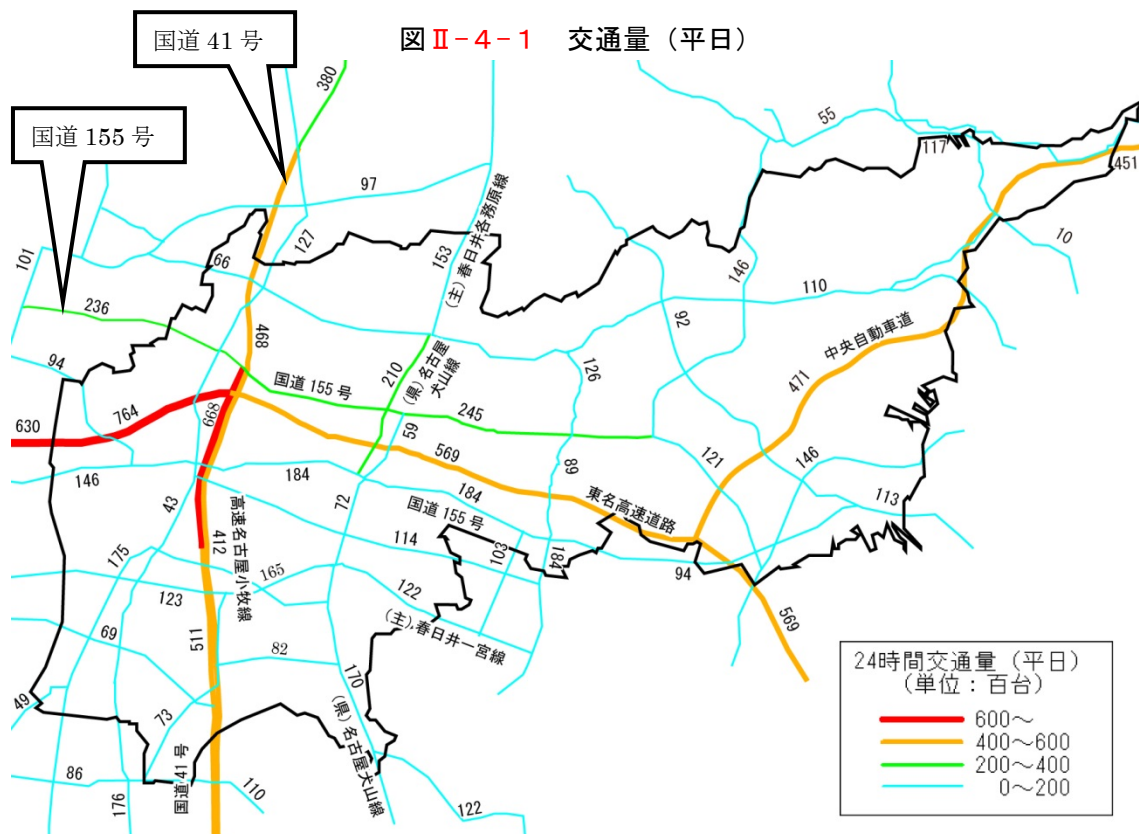
4. 既往調査から見た移動特性の把握

(1) 道路交通センサス※から見た自動車交通の状況

道路交通センサスによると、国道41号では交通量が4万台を超え、混雑度※が1.5以上となっています。ピーク時間帯には国道41号へのアクセス道路を中心に混雑が発生しており、混雑時旅行速度※が20km/hを下回っています。

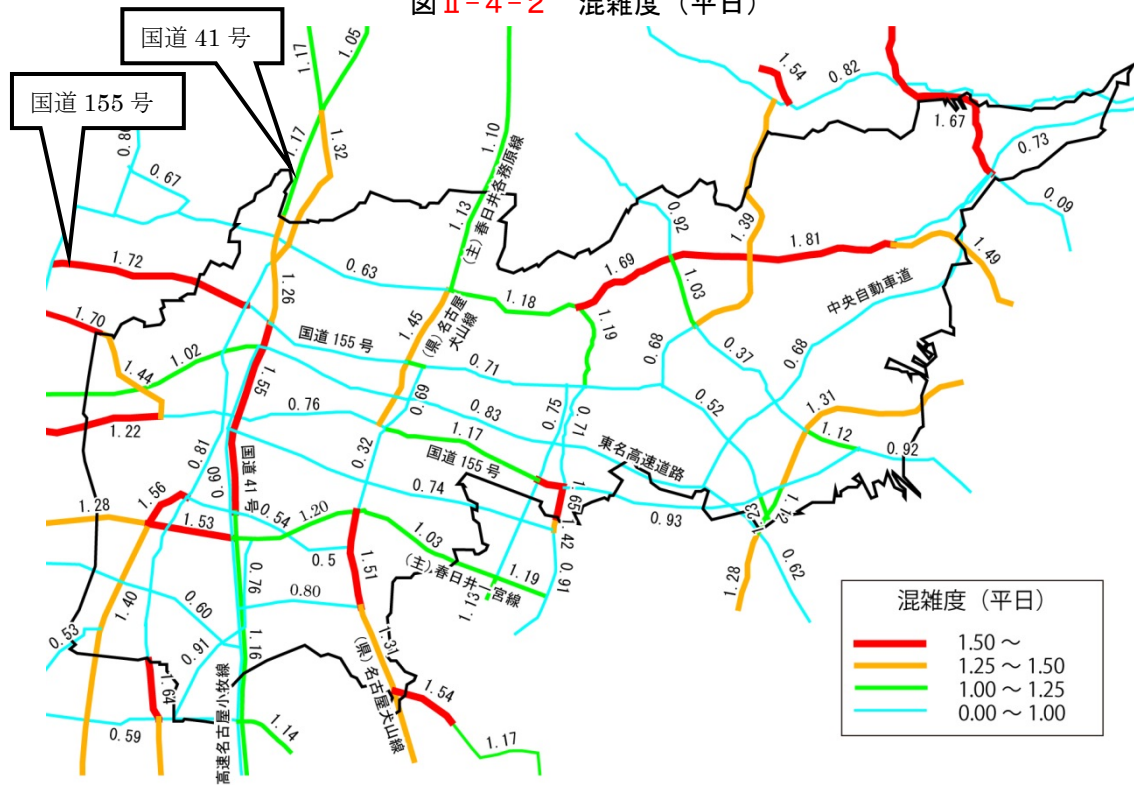
また、国道155号では、交通量が2万台を超え、混雑時旅行速度が20km/hを下回っています。

※参考資料 用語解説 参照



（資料：平成22年度道路交通センサス）

図Ⅱ-4-2 混雑度（平日）



（資料：平成 22 年度道路交通センサス）

図Ⅱ-4-3 混雑時旅行速度（平日）



（資料：平成 22 年度道路交通センサス）

(2) 中京都市圏パーソントリップ調査※から見た移動特性

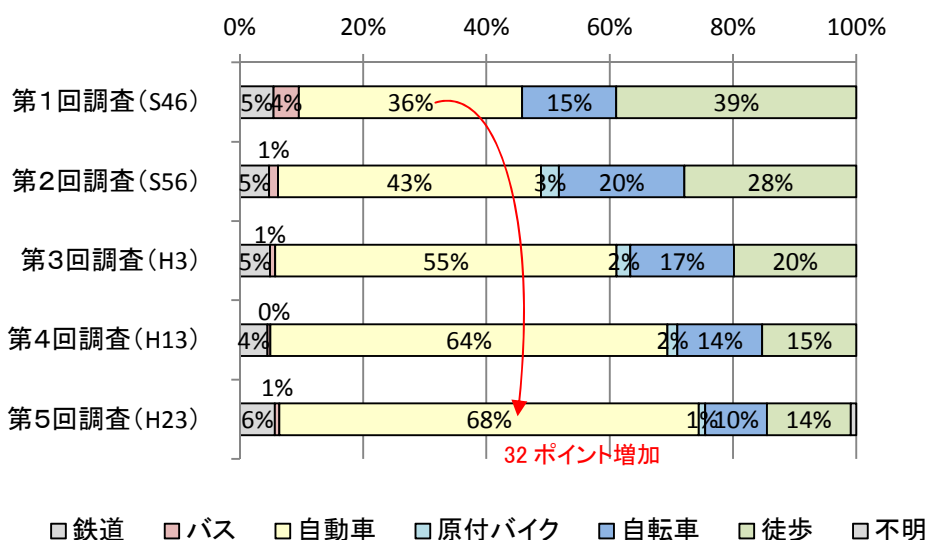
外出するときの移動手段(代表交通手段※)の利用割合の推移をみると、昭和46年以降、「自動車」の占める割合は増加を続けている一方、「自転車」、「徒歩」の割合は減少しています。

全手段目的別トリップ※構成をみると、自由目的のトリップ構成の割合は昭和46年以降増加を続けています。

周辺市町との比較では、「自動車」の割合は大口町に次いで高く、「業務」の割合は豊山町に次いで高くなっています。

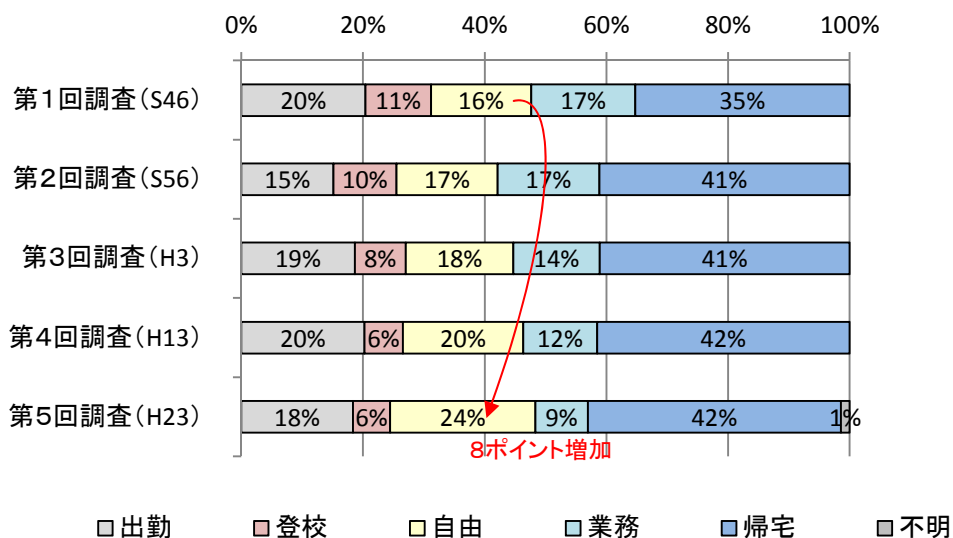
※参考資料 用語解説 参照

図Ⅱ-4-4 代表交通手段別利用率の推移(小牧市)



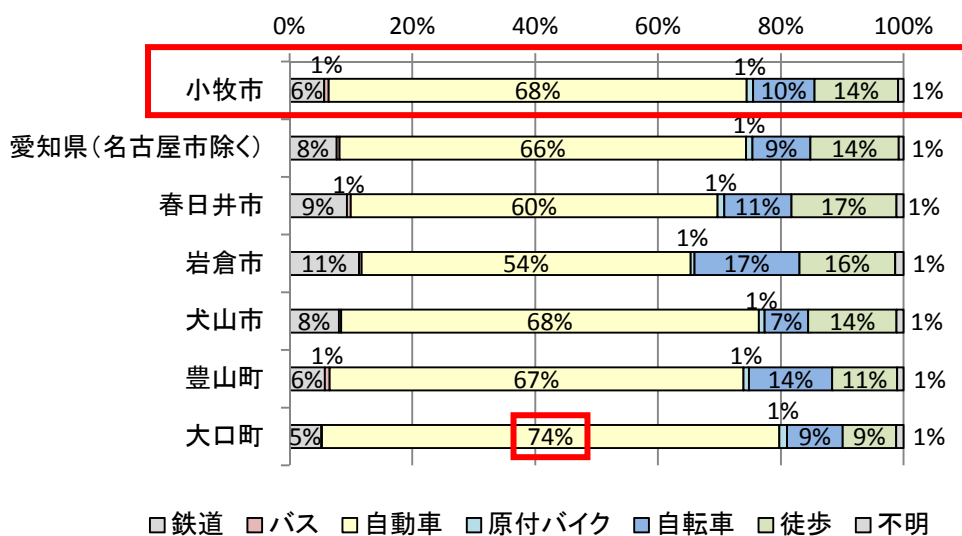
(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

図Ⅱ-4-5 全手段目的別トリップ構成の推移(小牧市)



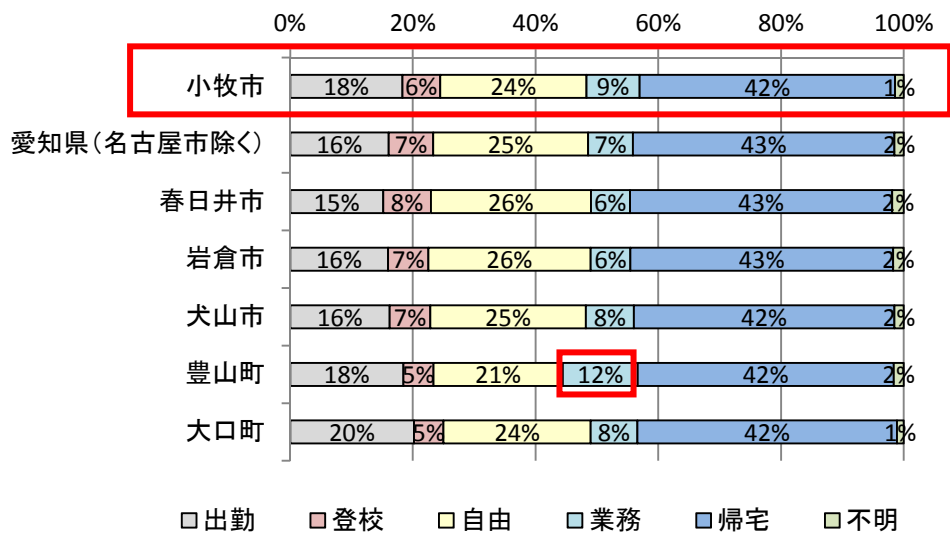
(資料：中京都市圏パーソントリップ調査)

図Ⅱ-4-6 代表交通手段別利用率の周辺市町との比較



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(平成23年調査))

図Ⅱ-4-7 全手段目的別トリップ構成の周辺市町との比較

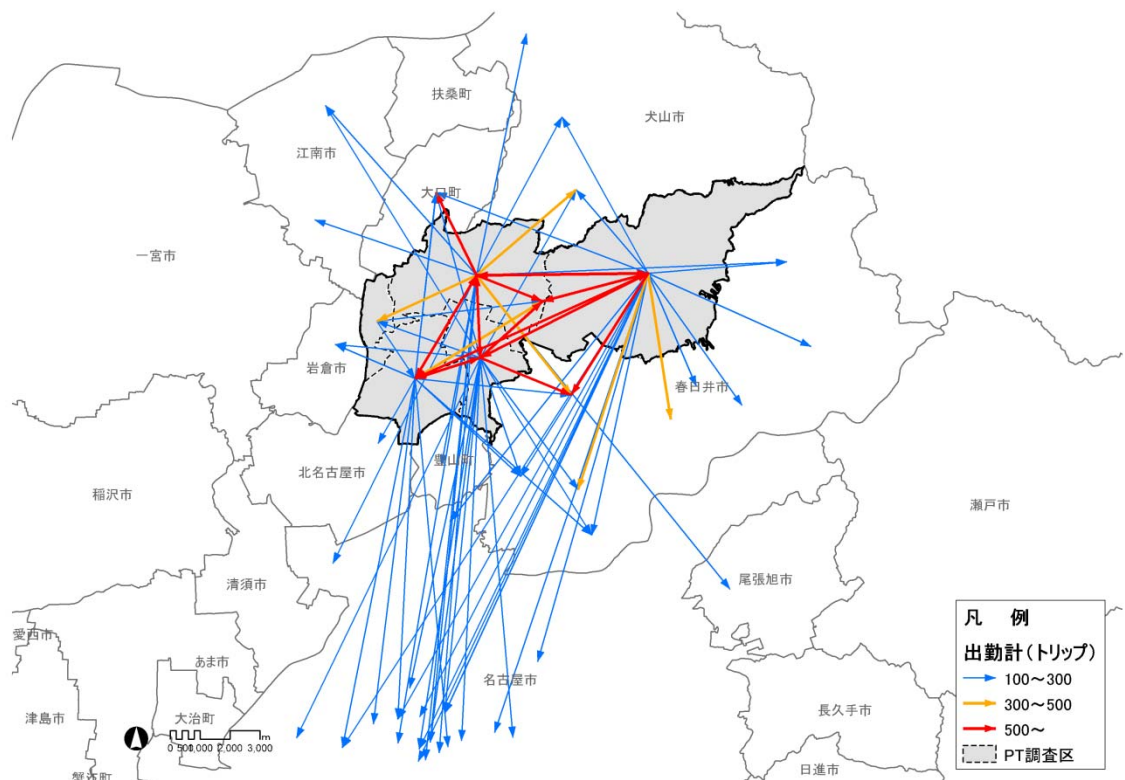


(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査(平成23年調査))

本市を出発地とする人の目的別の移動をみると、「出勤」目的では、**小牧**市内では東西方向の移動が、市外では春日井市、大口町への移動が 500 トリップ以上と多くなっています。また、「登校」目的では、**小牧**市内の移動が 300 トリップ以上と多くなっています。「自由」目的では、市内東西方向の移動及び春日井市、岩倉市、大口町、豊山町への移動が 300 トリップ以上と多くなっています。

地区別にみると、市東部では全ての目的で、春日井市との結びつきが強く、市西部では、登校や自由目的で岩倉市との結びつきが強くなっています。また、市北部では全ての目的で、大口町との結びつきが強くなっています。

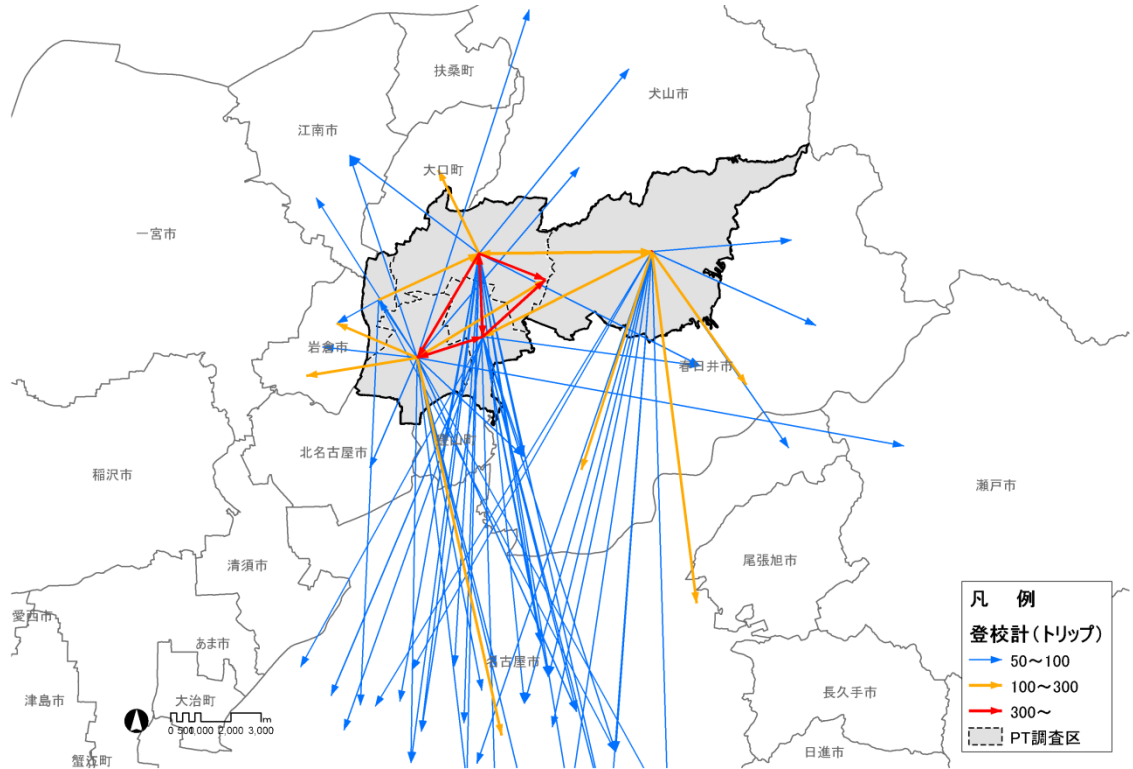
図Ⅱ-4-8 出勤目的の移動の行き先



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

※100 トリップ未満は非表示、近隣市町との移動

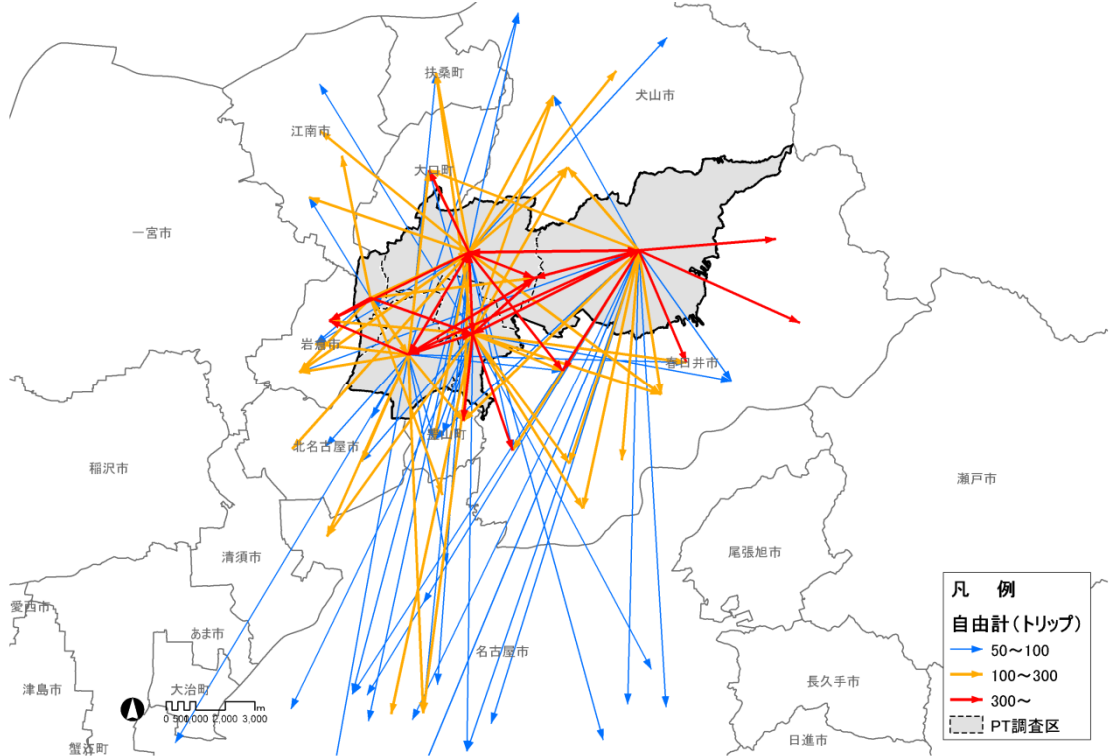
図Ⅱ-4-9 登校目的の移動の行き先



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

※50 トリップ未満は非表示、近隣市町との移動

図Ⅱ-4-10 自由目的の移動の行き先



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

※50 トリップ未満は非表示、近隣市町との移動

5. 公共交通の現状

(1) 公共交通の現状

①運行状況

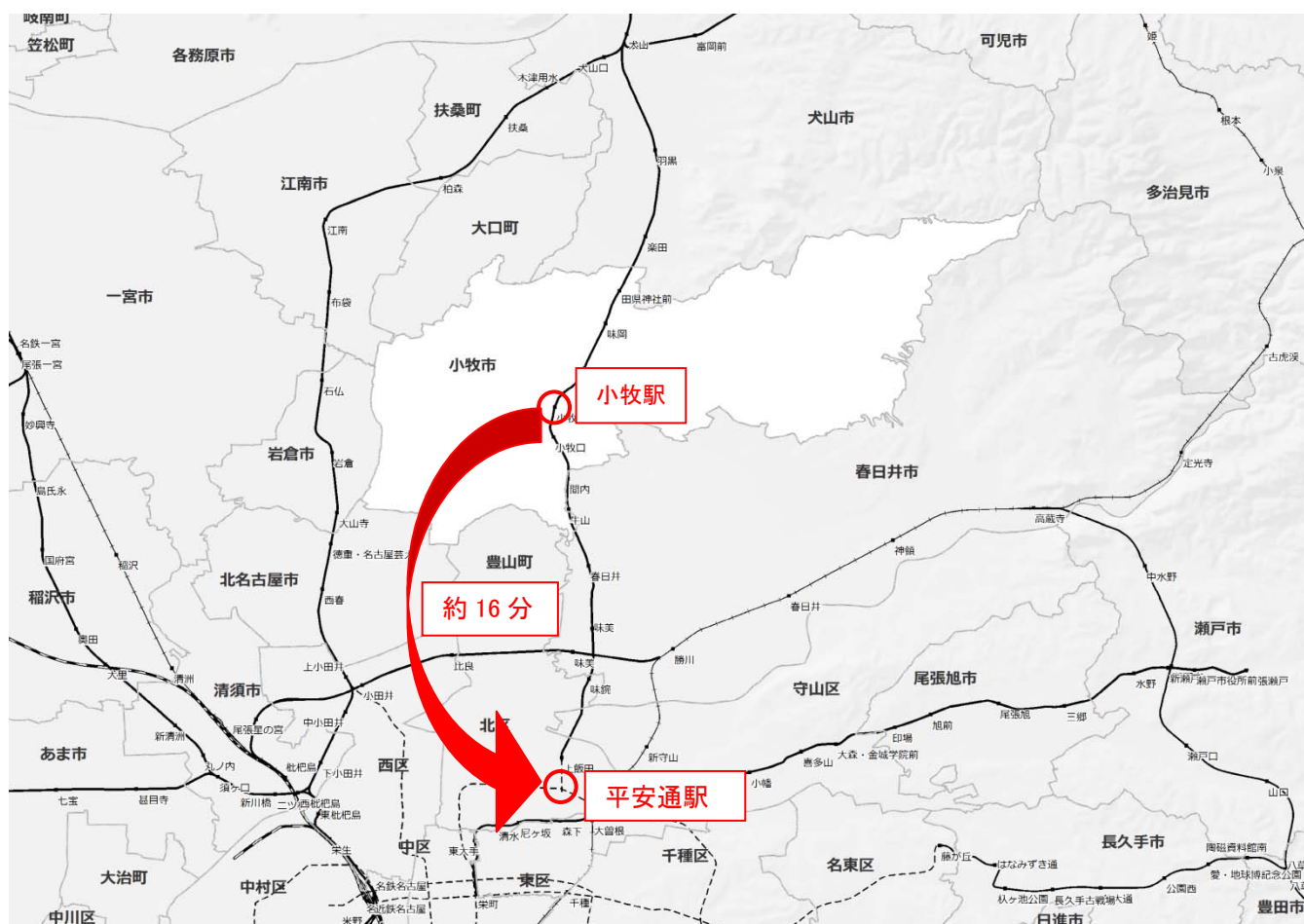
1) 鉄道

本市の鉄道は、名鉄小牧線が市中央部を南北方向に縦断しており、市内には小牧駅をはじめとした6駅※、市境に近接して牛山駅が設置されています。

また、名鉄小牧線は名古屋市営地下鉄上飯田線と直通運転をしており、小牧駅と平安通駅間は約16分で結ばれています。

※間内駅は、ホームは春日井市であるが、駅前広場は小牧市に立地しているため、小牧市内の駅とする。

図Ⅱ-5-1 小牧市周辺の鉄道路線図（再掲）



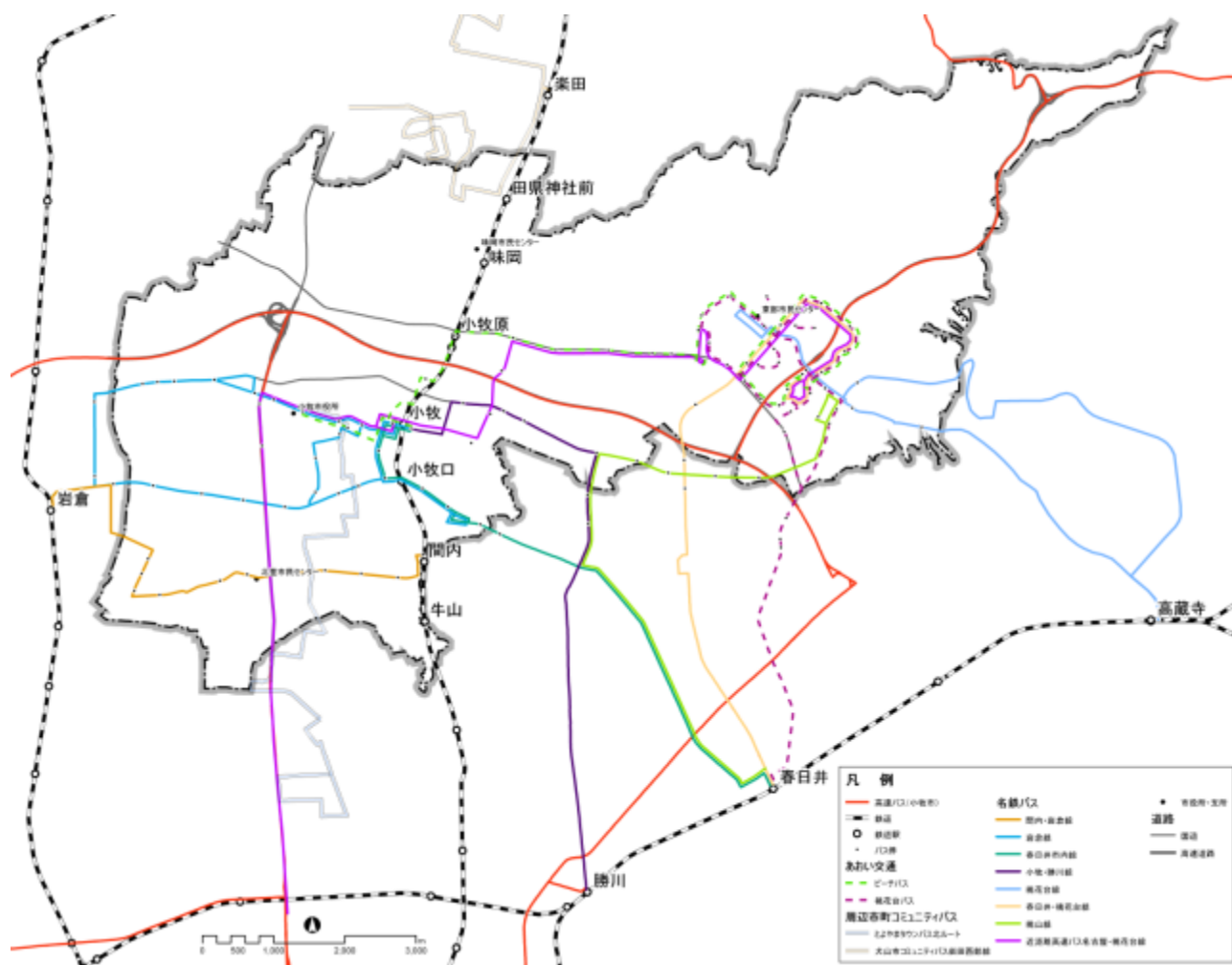
(資料：国土数値情報（平成28年10月現在）)

2) バス

本市では、民間の交通事業者により名鉄バス、ピーチバス、桃花台バスをはじめとする路線バスと近距離高速バスが運行されています。また、中央道桃花台バス停には、近距離高速バス等の高速バスが停車します。

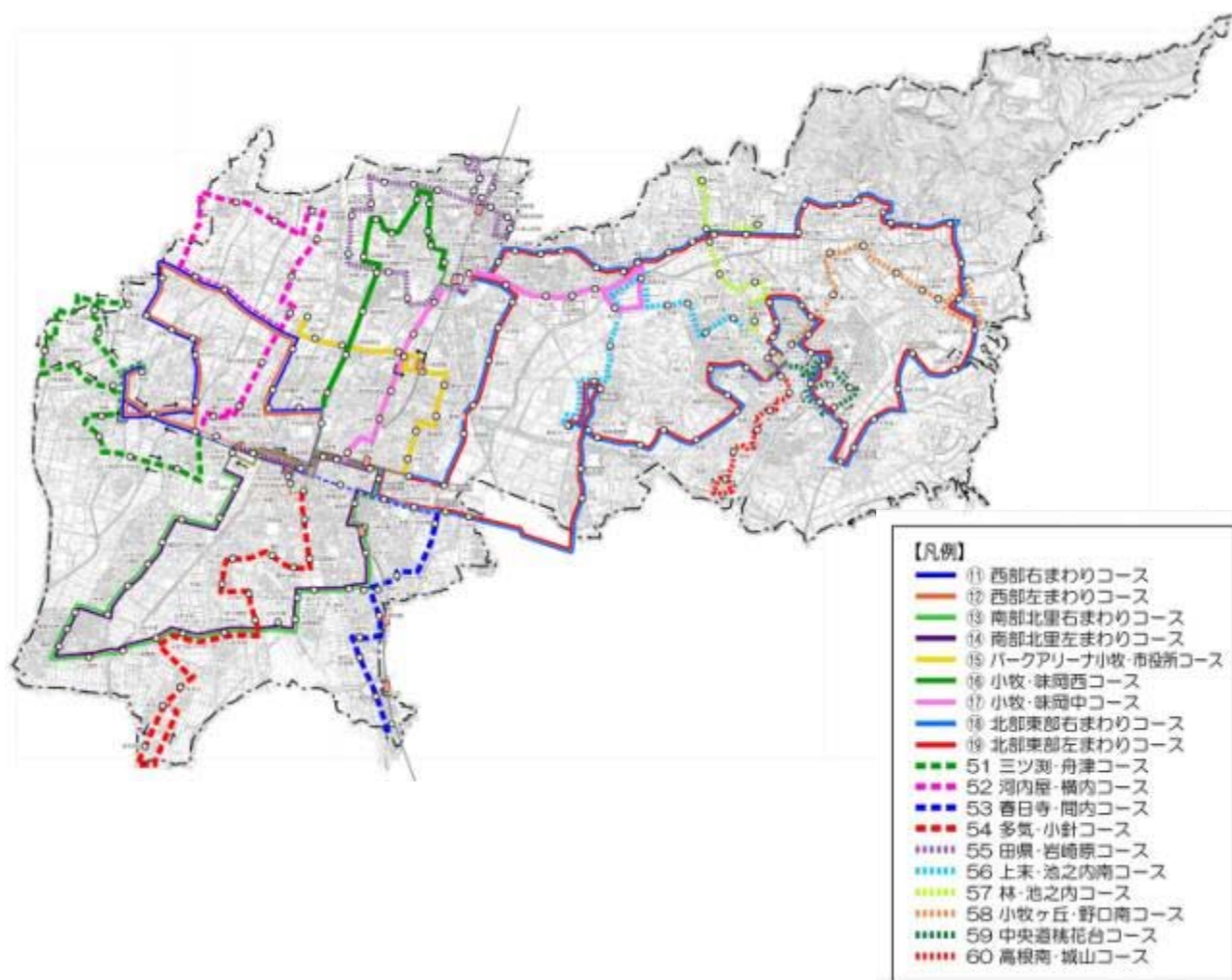
さらに、本市ではこまき巡回バスを運行しており、隣接する犬山市及び豊山町による犬山市コミュニティバス、とよやまタウンバスが運行されています。

図Ⅱ-5-2 小牧市周辺のバス路線図（平成29年4月現在）



(資料：小牧市公共交通マップ、国土数値情報（平成28年10月現在）)

図Ⅱ-5-3 こまき巡回バスコース図（平成29年4月現在）



3) 運行主体

鉄道は名古屋鉄道㈱の1社、バスのうち、路線バスはあおい交通㈱、名鉄バス㈱の2社、タクシー（市内に営業所がある事業者）はあおい交通㈱、小牧タクシー㈱、名鉄西部交通㈱の3社が運行しています。なお、名鉄バス㈱は、本市と隣接する春日井市や岩倉市等を結ぶ路線のほか、名古屋都心部とを結ぶ近距離高速バスも運行しています。さらに、中央道桃花台バス停に停車する高速バスとして、名鉄バス㈱、東濃鉄道㈱、ＪＲバス東海㈱、ＪＲバス関東㈱が路線を運行しています。

表Ⅱ-5-1 小牧市内の交通事業者

交通種別	公共交通の名称		運行主体
鉄道	名鉄小牧線		名古屋鉄道㈱
バス	路線バス	ピーチバス 桃花台バス	あおい交通㈱
		間内・岩倉線 岩倉線 桃花台線 春日井・桃花台線 桃山線 小牧・勝川線 春日井市内線	名鉄バス㈱
	近距離高速バス	名古屋・桃花台線	名鉄バス㈱
		中央道桃花台バス停発着路線	東濃鉄道㈱ 名鉄バス㈱
	高速バス	中央道桃花台バス停発着路線	ＪＲ東海バス㈱ ＪＲバス関東㈱ 名鉄バス㈱
	コミュニティバス	こまき巡回バス 犬山市コミュニティバス とよやまタウンバス	小牧市 犬山市 豊山町
タクシー※			あおい交通㈱ 小牧タクシー㈱ 名鉄西部交通㈱

※市内に営業所がある事業者

②公共交通のサービス水準と利用状況

市内を運行する公共交通のサービス水準や利用状況を整理します。

1) 鉄道

(ア) サービス水準

名鉄小牧線は小牧駅以北が単線、以南は複線であるため、小牧駅を境にサービス水準に差があり、小牧駅におけるピーク時（平日）の運行本数は、1時間あたり犬山方面が4本、上飯田・平安通方面が8本となっています。

表Ⅱ-5-2 鉄道のサービス水準

路線名	現行サービス水準(平日)		
	1日あたり 運行本数	ピーク時 1時間あたり 運行本数	運行時間
名鉄小牧線(犬山方面)	74	4	5:30 ~ 0:11
名鉄小牧線(上飯田・平安通方面)	94	8	5:32 ~ 23:56

※ピーク時は平日の1日の運行のうち、1時間あたりの運行本数が最も多い時間帯

※1日あたりの運行本数及びピーク時1時間あたりの運行本数は小牧駅の発本数、運行時間は小牧駅の発時刻

※平成29年4月1日現在

表Ⅱ-5-3 小牧駅から主要駅までの運賃

	運賃
犬山駅	350 円
上飯田駅	300 円
平安通駅	500 円

※片道の大人運賃

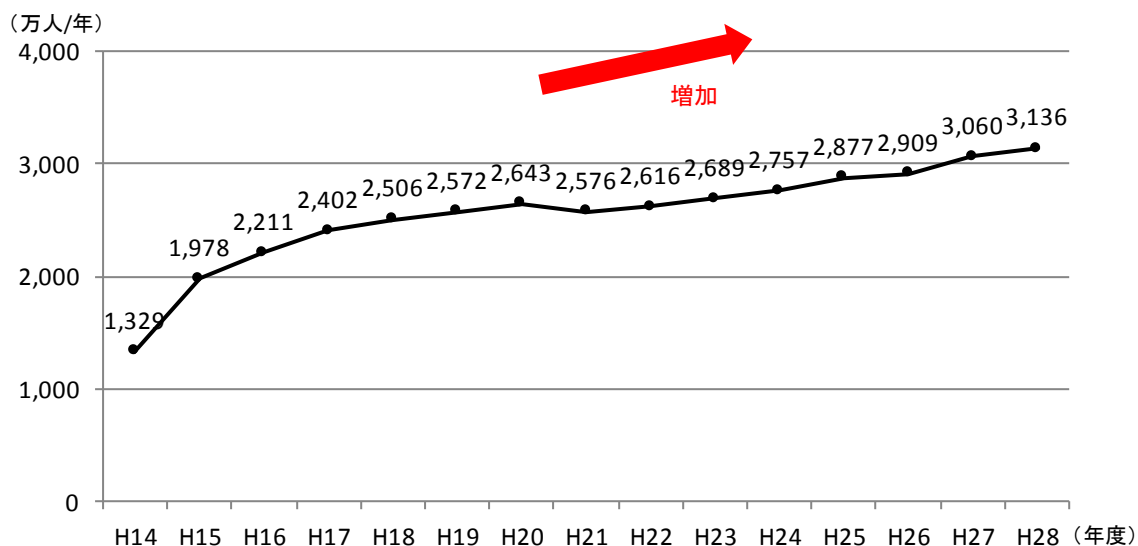
※平成29年4月1日現在

(イ) 利用状況

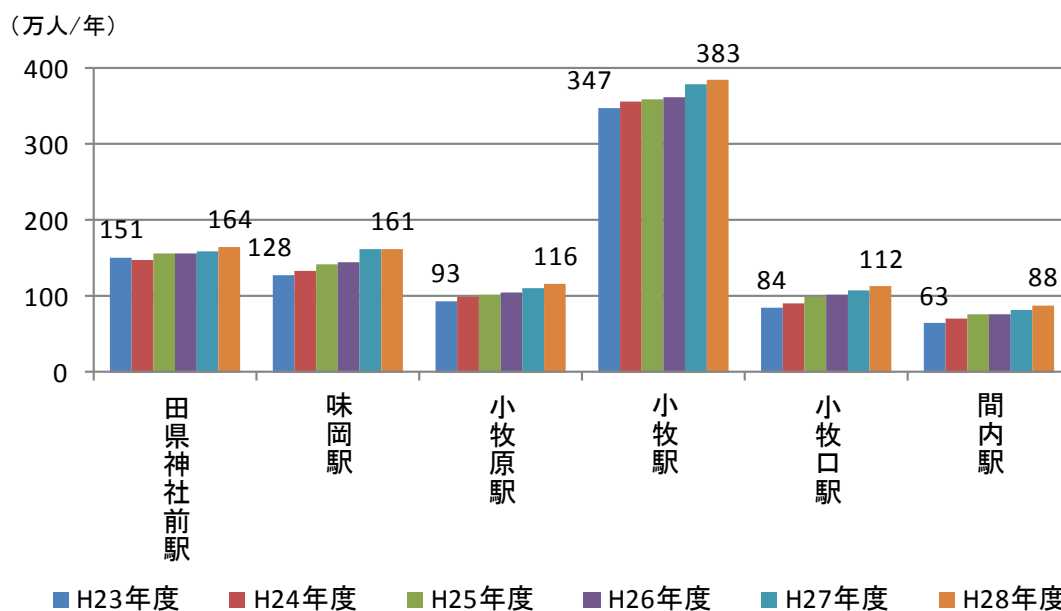
名鉄小牧線の乗降客数（犬山駅から平安通駅までの合計）は年々増加しており、平成28年度には、年間約3,136万人となっています。

駅別の乗降客数は、小牧駅が最も多く、平成28年度時点で年間約383万人となっています。また、平成23年度から平成28年度の5年間の推移では、市内全駅で乗降客数は増加しています。

図Ⅱ-5-4 名鉄小牧線乗降客数の推移



図Ⅱ-5-5 駅別乗降客数の推移



※数値は、H23年度とH28年度のみ表記

(ウ) 駅のアクセス状況

市内 6 駅の利用者が、どのような交通手段で駅を利用しているかを、第 5 回中京都市圏パーソントリップ調査（平成23年調査）から各駅のアクセス交通手段※を目的別に分類してみると、田県神社前駅、小牧原駅、間内駅では「徒歩」の割合が約 7 ～ 8 割と高く、駅勢圏が小さいことがわかります。

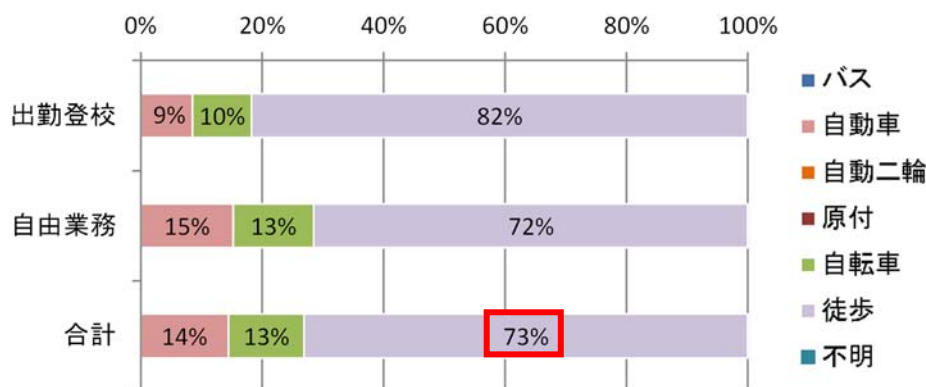
これ以外の味岡駅、小牧駅及び小牧口駅では、「徒歩」以外の交通手段も使われており、特に味岡駅は「自動車」と「自転車」を合わせた割合が 7 割近くを占めており、広範囲から利用されていることがうかがえます。

また、小牧駅と小牧原駅は、バスがアクセス交通手段として利用されていることがわかります。

本市の主要駅である小牧駅と市内からのバス路線でアクセス可能な近隣市町の主要駅（牛山駅、JR春日井駅、勝川駅、高蔵寺駅、岩倉駅）を比較すると、小牧駅は牛山駅を除く他の主要駅に比べ、「徒歩」の利用割合が高いものの、牛山駅を除く他の主要駅と同様に様々な交通手段の結節点としての機能を果たしていることがわかります。

※参考資料 用語解説 参照

図 II-5-6 田県神社前駅へのアクセス目的別交通手段



※合計には「帰宅」目的の移動を含む（以下、同様）

（資料：第 5 回中京都市圏パーソントリップ調査（平成 23 年調査））

図 II-5-7 味岡駅へのアクセス目的別交通手段



（資料：第 5 回中京都市圏パーソントリップ調査（平成 23 年調査））

図Ⅱ-5-8 小牧原駅へのアクセス目的別交通手段



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

図Ⅱ-5-9 小牧駅へのアクセス目的別交通手段



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

図Ⅱ-5-10 小牧口駅へのアクセス目的別交通手段



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

図Ⅱ-5-11 間内駅へのアクセス目的別交通手段



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

図Ⅱ-5-12 牛山駅へのアクセス目的別交通手段



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

図Ⅱ-5-13 JR春日井駅へのアクセス目的別交通手段



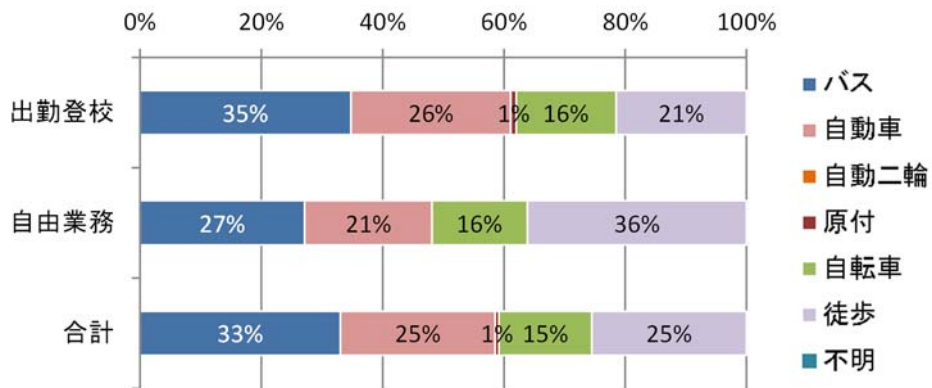
(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

図Ⅱ-5-14 勝川駅へのアクセス目的別交通手段



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

図Ⅱ-5-15 高蔵寺駅へのアクセス目的別交通手段



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

図Ⅱ-5-16 岩倉駅へのアクセス目的別交通手段



(資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査 (平成23年調査))

2) バス

(ア) サービス水準

本市で運行されているバスのうち大半の路線は、1日あたりの運行本数が10本以上となっており、そのうち片道30本/日以上運行頻度の路線（ただし、ここでは市内の移動として利用できない高速バスは除く）も5路線あります。

また、小牧駅を経由もしくは起終点とする路線バスは4路線ありますが、これらの路線の1日あたり運行本数は計203本あり、市内外から小牧駅へのバスによるアクセスが優れていることがわかります。

こまき巡回バスは、平成27年4月と平成28年4月に、ルートや運行本数等の見直しを行い、アクセス利便性の向上を図りました。

表Ⅱ-5-4 バスのサービス水準

種別	路線名		現行サービス水準（平日）				
			1日 あたり 運行本数	ピーク時 1時間 あたり 運行本数	運行時間	運賃 (円)	
路線バス	名鉄バス	間内・岩倉線	12	1	7:00 ～ 21:44	390	
		岩倉線	(桜井経由) ※1	29	3	5:50 ～ 23:07	350
			(小牧市民病院前経由)	27	2	6:50 ～ 21:24	
			(小牧市役所前経由)	23	2	6:33 ～ 21:52	
		春日井市内線	51	4	6:05 ～ 23:19	460	
		小牧・勝川線	17	2	6:09 ～ 22:05	480	
		桃花台線 ※2	25	3	6:18 ～ 22:39	430	
		春日井・桃花台線 ※3	47	8	5:46 ～ 0:35	310	
		桃山線	7	1	5:48 ～ 22:07	520	
	あいおい交通	ピーチバス	56	5	5:35 ～ 23:55	300	
		桃花台バス ※4	31	8	5:47 ～ 22:47	300	
高速バス	近距離高速バス	近距離高速バス名古屋・桃花台線 ※5	21	4	6:04 ～ 0:04	770	
		中央道桃花台バス停発着路線 ※6	34	9	6:49 ～ 23:50	770	
	高速バス	中央道桃花台バス停発着路線 ※7	34	4	5:13 ～ 23:57		
コミュニティバス	こまき巡回バス	⑪西部右まわりコース	10	1	7:54 ～ 18:59	200 (一日)	
		⑫西部左まわりコース	10	1	7:28 ～ 18:26		
		⑬南部北里右まわりコース	10	1	6:40 ～ 18:29		
		⑭南部北里左まわりコース	10	1	6:30 ～ 18:31		
		⑮パークアリーナ小牧・市役所コース	10	1	7:39 ～ 20:04		
		⑯小牧・味岡西コース	10	1	7:02 ～ 20:23		
		⑰小牧・味岡中コース	10	1	7:35 ～ 20:48		
		⑱北部東部右まわりコース	11	1	6:58 ～ 19:06		
		⑲北部東部左まわりコース	11	1	6:57 ～ 19:33		

種別	路線名		現行サービス水準（平日）			
			1日 あたり 運行本数	ピーク時 1時間 あたり 運行本数	運行時間	運賃 (円)
コミュニティバス	こまき巡回バス	51 三ツ渚・舟津コース	10	1	7:46 ～ 18:49	200 (一日)
		52 河内屋・横内コース	11	1	7:42 ～ 18:54	
		53 春日寺・間内コース	9	1	7:43 ～ 18:40	
		54 多気・小針コース	9	1	7:55 ～ 18:17	
		55 田県・岩崎原コース	17	2	7:17 ～ 19:57	
		56 上末・池之内南コース	12	1	7:15 ～ 19:14	
		57 林・池之内コース	12	1	6:50 ～ 19:39	
		58 小牧ヶ丘・野口南コース	13	2	6:59 ～ 19:34	
		59 中央道桃花台コース	13	1	6:35 ～ 19:59	
		60 高根南・城山コース	13	1	6:44 ～ 19:49	
	犬山市 コミュニティバス	楽田西部線※8	6	1	7:30 ～ 17:50	200 (一日)
	とよやま タウンバス	北ルート	9	1	7:26 ～ 19:52	300

(注) 平成 29 年 4 月 1 日現在のサービス水準を記載

(注) 1 日あたり運行本数は片道の運行本数であり、上下線で運行本数が異なる場合はその平均（小数点第 1 位四捨五入）を記載

(注) ピーク時 1 時間あたりの運行本数は片道の運行本数であり、始発バス停発車時間（始発バス停が複数ある場合は全ての始発バス停で最も本数の多い時間）を基準として算出（※但し、桃花台バスは、春日井駅前到着時刻を基準として、中央道桃花台バス停発着路線は、中央道桃花台バス停発車時間を基準として算出）

(注) 運行時間は、始発便の始発バス停発車時間（上下線のうち始発時間が早いほう）～最終便の終着バス停到着時間（上下線のうち到着時間が遅いほう）を記載（※但し、中央道桃花台バス停発着路線は、中央道桃花台バス停の発着時間を記載）

(注) 運賃は、始発バス停から終着バス停までの大人片道運賃を記載（※深夜バスを除く。中央道桃花台バス停発着路線は、中央道桃花台バス停から名鉄バスセンターまでの運賃を記載）

※ 1：住友理工前発着（片道 1 本ずつ）を含む

※ 2：中央台経由（片道 2 本ずつ）を含む

※ 3：深夜バス（春日井駅発桃花台東行き 2 本）を含む

※ 4：全系統（朝 A・B・C・D、昼西回り・東回り、夜 A・B）をまとめて記載

※ 5：明治村発着（片道 2 本ずつ）、深夜バス（名鉄バスセンター発桃花台東行き 1 本）を含む

※ 6：中央道桃花台バス停を停車する近距離高速バスの全系統（名古屋・多治見線（深夜バス（名鉄バスセンター発桂ヶ丘 1 丁目行き 1 本）を含む）、西可児線、可児市役所線）をまとめて記載

※ 7：中央道桃花台バス停を停車する高速バスの全系統（名古屋新宿線、名古屋飯田線、名古屋長野・松本線、中央ライナー、名古屋ライナー甲府号）をまとめて記載

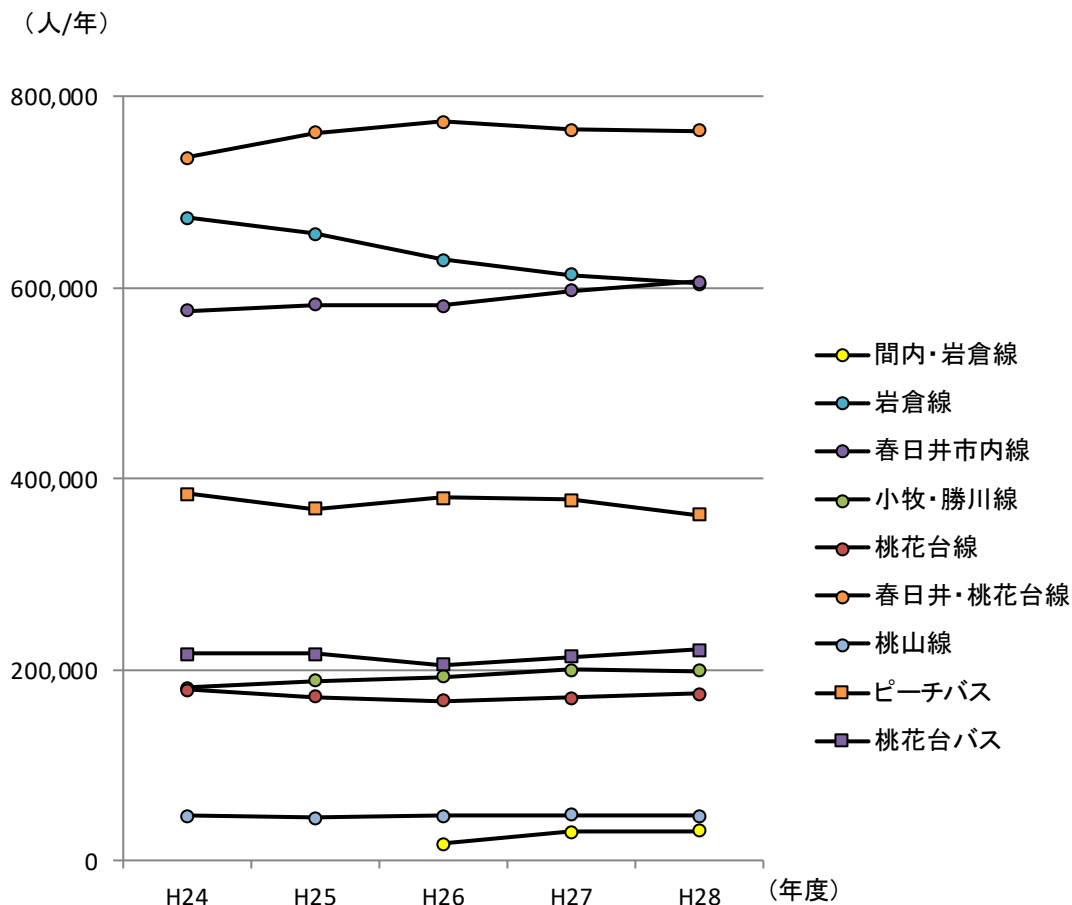
※ 8：月・火・金曜日のみの運行

(イ) 路線バス利用状況

路線バスの利用者数は、平成24～26年度にかけて、春日井・桃花台線や春日井市内線、小牧・勝川線で増加しています。一方、岩倉線や桃花台線、ピーチバス等は、減少傾向にあります。

なお、小牧市内を運行する路線バスのうち、ピーチバスについては、平成26年4月に小牧市役所前～小牧駅前間の増便及びメナード美術館前バス停の移設による小牧市民病院へのアクセス利便性向上などによりサービス拡大を図りました。また、平成26年8月には間内～岩倉駅間に新たに名鉄バス間内・岩倉線が運行を開始し、藤島地区等の利便性向上を図りました。

図Ⅱ-5-17 路線バスの利用者数推移



(単位:人)

		H24	H25	H26	H27	H28	H28-24増減数
名鉄バス	間内・岩倉線			17,466	29,903	31,427	-
	岩倉線	672,404	656,112	628,759	612,774	603,435	▲ 68,969
	春日井市内線	574,938	582,112	580,648	596,187	606,013	31,075
	小牧・勝川線	181,321	188,220	192,460	199,839	198,724	17,403
	桃花台線	178,538	171,178	167,709	170,539	174,484	▲ 4,054
	春日井・桃花台線	735,810	761,642	773,452	764,719	763,768	27,958
	桃山線	46,923	45,121	46,687	47,866	47,317	394
あおい交通	ピーチバス	383,831	367,782	379,563	377,101	361,715	▲ 22,116
	桃花台バス	216,098	216,250	204,397	213,046	220,515	4,417

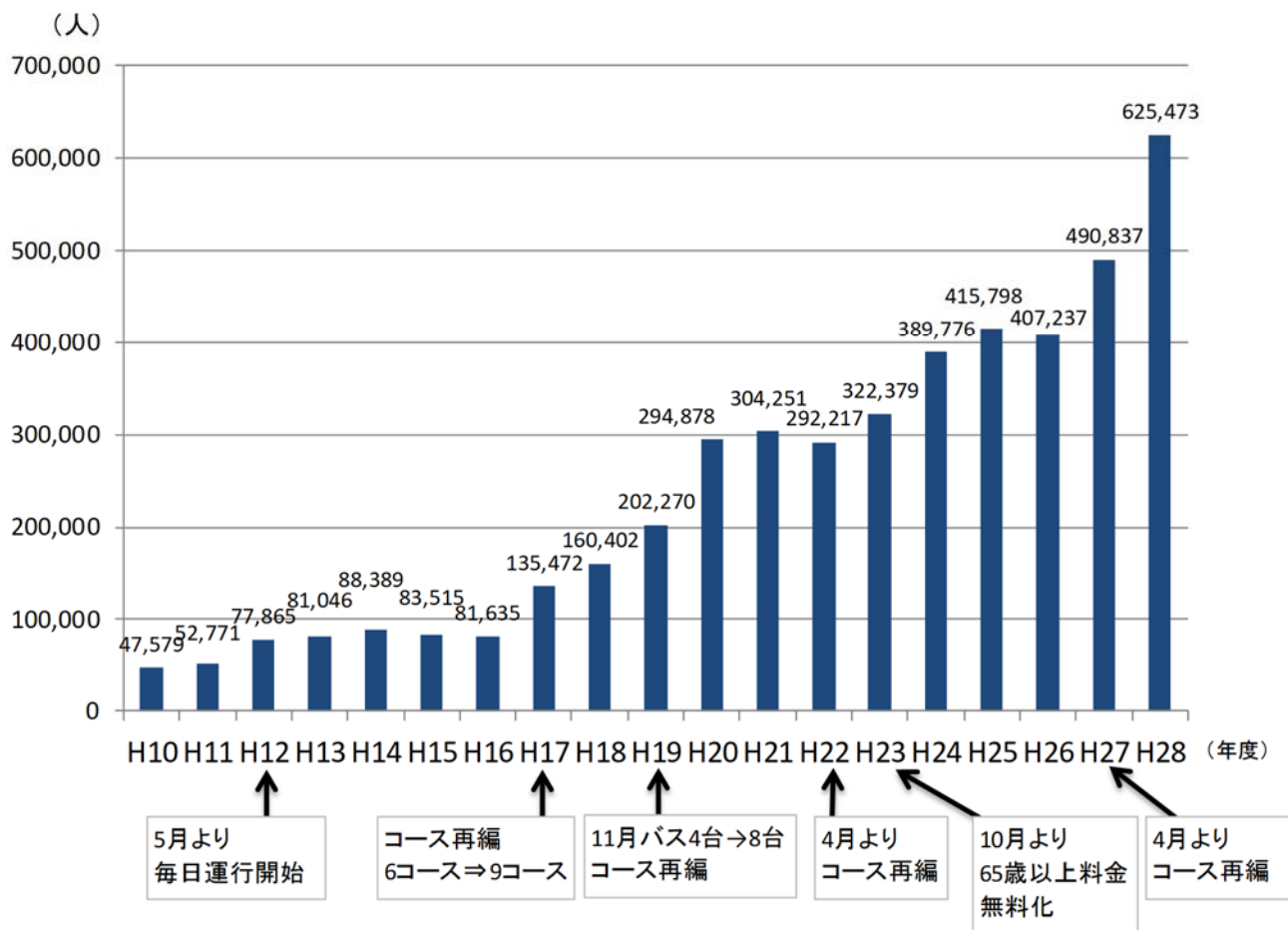
(ウ) こまき巡回バス利用状況

こまき巡回バスの利用者数は、**ルート**の拡充や運行頻度の増加等のサービス水準の向上に伴い、増加傾向にあります。

特に、65歳以上の料金を無料化（平成23年10月）した平成24年度以降は、利用者が大きく増加しています。

また、平成27年4月と平成28年4月の2箇年にわたる再編により利便性向上を図った結果、平成28年度利用者数は前年から約13万人程増加しています。

図Ⅱ-5-18 こまき巡回バスの利用者数推移



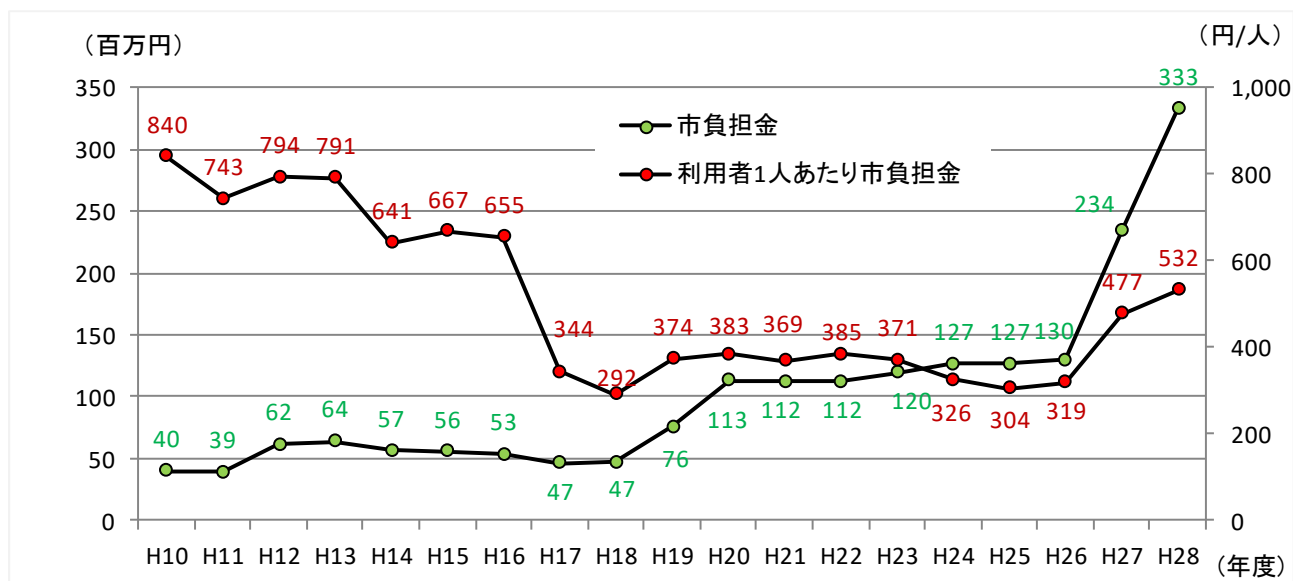
(エ) 小牧市の運行負担金

平成10年度以降、サービス水準の向上により、利用者は増加していますが、運行に係る市補助金は増大し、平成28年度では年間約3.3億円となっています。

一方で、利用者が増加したことにより、利用者1人あたりの市負担金は減少しており、運行当初の約840円/人が、平成28年度では約532円/人まで低下しています。

また、本市では、こまき巡回バスを運行するほかに、市内の路線バス（間内・岩倉線、ピーチバス）の運行を維持するために、平成24年度以降、補助しています。（ただし、ピーチバスに対する市補助は平成24～26年度のみ）

図Ⅱ-5-19 こまき巡回バス運行負担金※の推移



※市負担金は運行経費から運賃収入等を差し引いた額

※利用者1人あたりの市負担金は市負担金を利用者数で割った数値

(資料：小牧市)

表Ⅱ-5-5 路線バスに対する市補助金の推移

(単位:円)

路線名	H24	H25	H26	H27	H28
間内・岩倉線	-	-	3,484,000	18,322,000	18,011,000
ピーチバス	7,000,000	10,400,959	791,000	-	-
合計	7,000,000	10,400,959	4,275,000	18,322,000	18,011,000

※間内・岩倉線の市補助金については、H26は平成26年8月～平成26年9月の2ヶ月間

本市のこまき巡回バスと周辺市町におけるコミュニティバス※の運行状況を比較すると、こまき巡回バスの利用者数は周辺市町におけるコミュニティバスの利用者数よりも多くなっています。また、運行負担金についても周辺市町よりも多い状況にあります。

※参考資料 用語解説 参照

表Ⅱ-5-6 周辺市町におけるコミュニティバスの運行状況

	年度	年間利用者数 (人)	路線数	使用車両台数	運賃	市町村 実負担額	利用者 一人当たり 市町負担額
小牧市	H26	407,237	8 路線	35 人乗りバス 8 台	1 日 200 円	約 1 億 3,000 万円	約 320 円
	H27	490,837	13 路線	35 人乗りバス 9 台 ワンボックスバス 4 台	1 日 200 円	約 2 億 3,400 万円	約 480 円
	H28	625,473	19 路線	35 人乗りバス 11 台 ワンボックスバス 7 台	1 日 200 円	約 3 億 3,300 万円	約 530 円
春日井市	H28	316,823	4 路線	56 人乗りバス 4 台 33 人乗りバス 1 台 30 人乗りバス 1 台 27 人乗りバス 2 台	200 円 均一	約 1 億 3,600 万円	約 430 円
犬山市	H28	85,383	8 路線	33 人乗りバス 3 台 29 人乗りバス 2 台	1 日 200 円	約 5,000 万円	約 580 円
大口町	H28	126,545	8 路線	37 人乗りバス 6 台 ワゴン 2 台	100 円 均一	約 3,800 万円	約 310 円
北名古屋市	H28	196,946	17 路線	36 人乗りバス 6 台 31 人乗りバス 6 台 ワゴン 5 台	100 円 均一	約 6,100 万円	約 310 円
豊山町	H28	76,187	2 路線	28 人乗りバス 1 台 20 人乗りバス 1 台 タウンエース 1 台	100～ 500 円	約 2,200 万円	約 290 円
一宮市	H28	251,230	6 路線	56 人乗りバス 3 台 37 人乗りバス 2 台 33 人乗りバス 2 台	100～ 200 円	約 6,500 万円	約 260 円

※「利用者一人当たり市町負担額」は「市町村実負担額」÷「年間利用者数（人）」により算出

（資料：愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について（平成 29 年 5 月調査））

3) タクシー

タクシー（市内に営業所がある事業者）はあおい交通㈱、小牧タクシー㈱、名鉄西部交通㈱の3社が運行しています。ここでタクシー及びあおい交通㈱が運行する乗合ジャンボタクシー「ミゴン」について、サービス状況を整理します。

表Ⅱ-5-7 タクシーの運賃体系（普通車）

初乗運賃	1.2km まで	600 円
加算運賃	255m までごとに	90 円
時間距離併用運賃	時速 10km 以下となった場合 1 分 35 秒までごとに	90 円
時間制運賃	30 分まで	3,450 円
	加算 15 分ごとに	1,720 円

※平成 29 年 4 月 1 日現在

（資料：愛知県タクシー協会ホームページ）

表Ⅱ-5-8 ミゴンの運行概要

運行区間	小牧駅から桃花台	J R 春日井駅から桃花台
乗車場所	小牧駅	J R 春日井駅
降車場所	ピーチバス運行ルート上フリー下車	桃花台バス運行ルート上フリー下車
運行時間帯	平日：23～24 時台	平日：22～24 時台
	土曜：22～24 時台	土曜：22～24 時台
運行便数	平日：3 便	平日：10 便
	土曜：5 便	土曜：10 便
運賃	一律 900 円	

※平成 29 年 4 月 1 日現在

（資料：あおい交通㈱ホームページ）

③公共交通カバー率

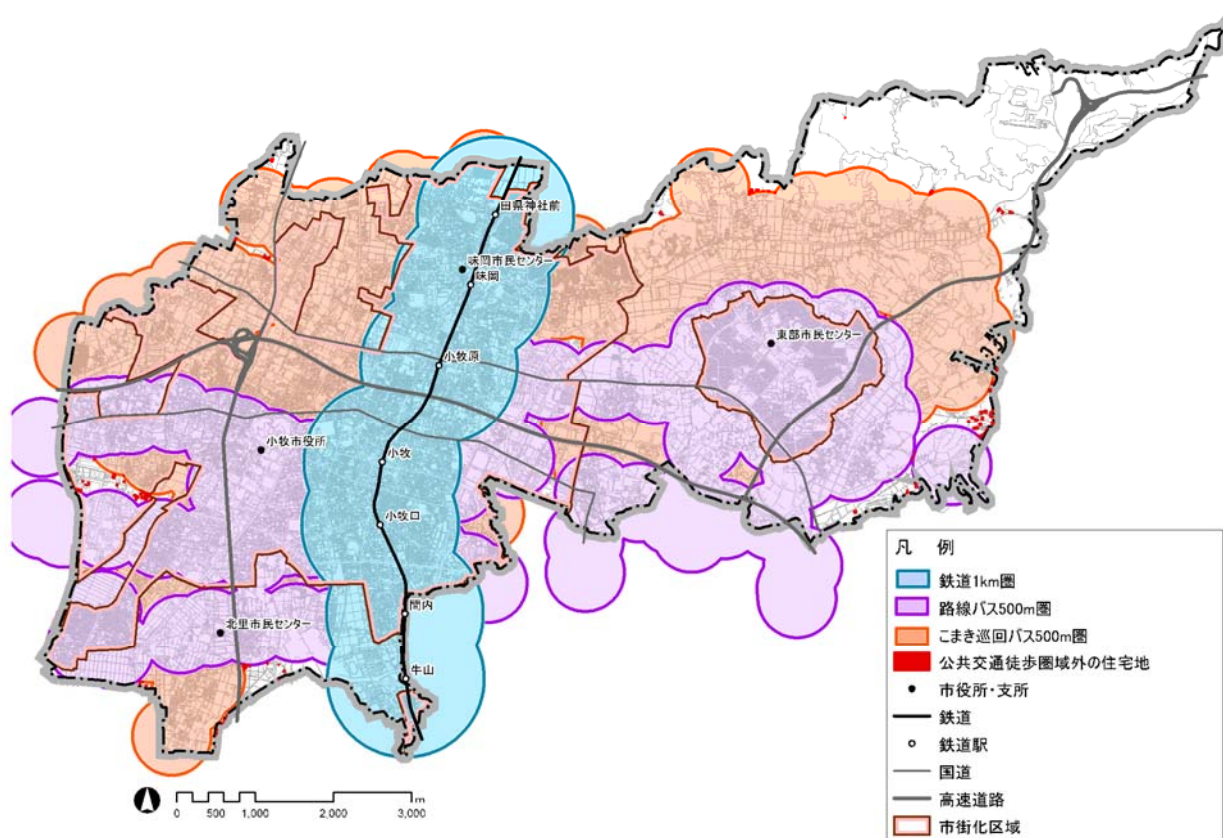
公共交通のサービス状況を把握するため、鉄道駅及びバス停からの徒歩圏による人口カバー率を算出します。

徒歩圏の範囲は、平成27年度及び平成28年度のこまき巡回バス再編時に基準とした値を参考に、鉄道駅徒歩圏は半径 1 km、バス停の徒歩圏は半径500mとします。

徒歩圏カバー率を、本市の全ての公共交通（鉄道、路線バス、こまき巡回バス）の徒歩圏人口として算出します。

その結果、本市の全ての公共交通の徒歩圏人口カバー率は約99%となっており、市街化区域やその他の集落が概ね徒歩圏に含まれています。

図 II-5-20 鉄道・バス徒歩圏域（平成 29 年 4 月時点）



※小牧市内の移動として利用できない「高速バス」は除く

表 II-5-10 鉄道・バス徒歩圏カバー率

H22 人口（人）	H22 圏域内人口（人）	カバー率
147, 132	146, 065	99. 3%

（資料：平成 22 年国勢調査）

※住宅地面積（H25 都市計画基礎調査より）按分により圏域内人口を算出

（２）公共交通による移動の利便性

①最寄りの鉄道駅までのアクセス利便性

公共交通による移動の利便性を把握するため、「アクセシビリティ指標※活用の手引き（案）」（国土技術政策総合研究所都市研究部、平成26年 6 月）を参考に、各地域から徒歩、路線バス及びこまき巡回バスを利用し、最寄りの鉄道駅に到着するまでの時間を評価します。

※参考資料 用語解説 参照

〈評価の方法〉

①所要時間ごとの人口を算出するため、平成 22 年国勢調査 500mメッシュ別人口をもとに、平成 25 年都市計画基礎調査における住宅地面積按分により、100mメッシュに人口を配分します。

②徒歩の移動速度を一般的な歩行速度である分速 50m（10 分で 500m、20 分で 1 km）、バスの移動速度を実際のこまき巡回バスの旅行速度※¹より時速 16.3km（分速約 272m）と仮定し、最寄りの駅（名鉄小牧線の駅及び JR 春日井駅、勝川駅、高蔵寺駅、岩倉駅）までの所要時間を計測します。

ただし、バスを乗り継がなければ鉄道を利用できない場合は、「アクセシビリティ指標活用の手引き（案）」の待ち時間の期待値の算出方法に基づき、乗り継ぎの待ち時間を算出し、移動時間に合算しました。

$$\text{待ち時間の期待値} = 60 \text{ 分} / 1 \text{ 時間あたりの片道の運行本数}^{\ast 2}$$

③所要時間ごとに人口及び高齢者人口を算出します。

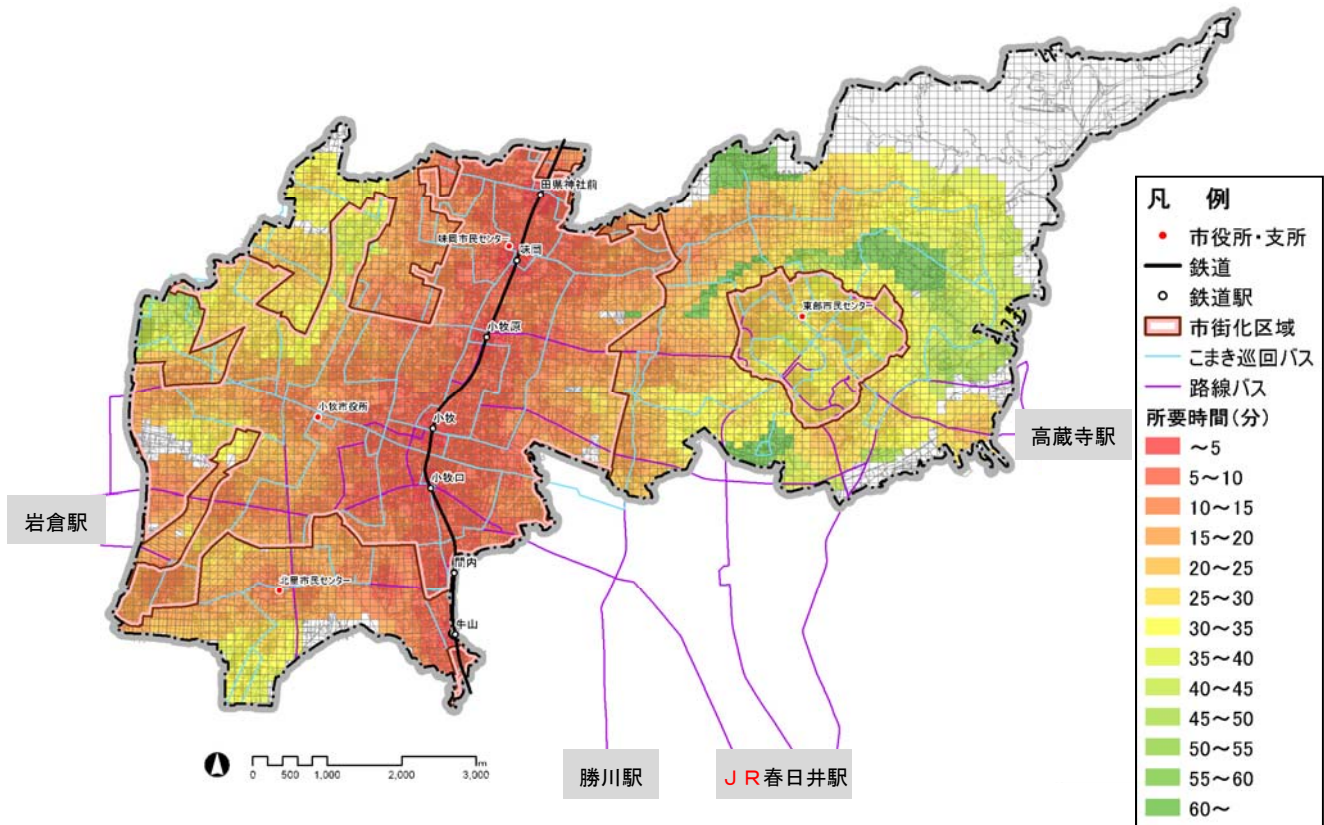
※¹ 旅行速度：移動に要した時間（信号待ちや交通渋滞による停止を含む）を移動距離で除した値

※² 平日中間時間帯（10～16 時）の平均本数

最寄りの鉄道駅に到着するまでの時間別の人口割合をみると、約15分以内に到着できる人は市民の約54%、15～30分以内に到着できる人は市民の約30%となっています。

なお、最寄りの鉄道駅に到着するまでの時間別の高齢者人口割合も、総人口とほぼ同様の割合となっています。

図Ⅱ-5-21 最寄りの鉄道駅に到着するまでの時間



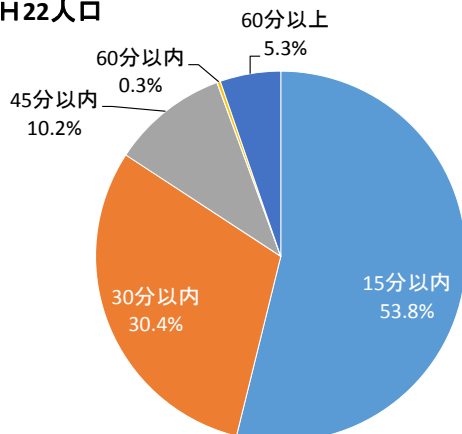
※平成 28 年 4 月時点のバスルートをもとに評価を行った。

表Ⅱ-5-11 最寄りの鉄道駅に到着するまでの時間別の人口

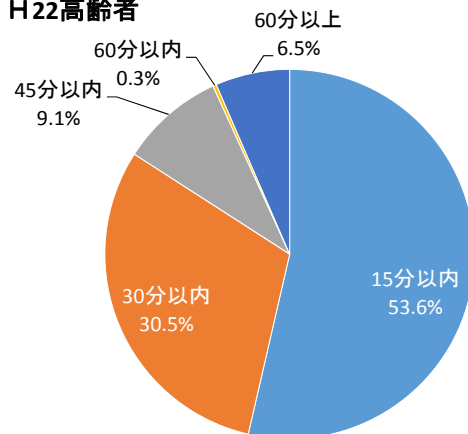
	H22 人口	H22 高齢者
	(人)	(人)
15 分以内	83,991	15,777
30 分以内	47,368	8,991
45 分以内	15,931	2,677
60 分以内	392	84
60 分以上	8,268	1,904
計	155,950	29,433

※500mメッシュ人口をもとに作成した 100mメッシュ別の人口より人口を算出しているため、公表されている人口とは一致しない

H22人口



H22高齢者



②名古屋駅までのアクセス利便性

名古屋駅は、東海道新幹線の「のぞみ」が停車することから東京や大阪への行き来における主要駅であるとともに、将来は中央新幹線（リニア）の開業も予定されており、東海地方の中心的な鉄道駅と言えます。そこで鉄道またはバスにより、名古屋駅まで行くことができる交通手段とその利便性を整理します。

鉄道は、小牧市内を運行する路線バスにより利用が可能な名鉄小牧線、名鉄犬山線、JR中央本線を対象とします。名鉄小牧線は、最も路線バスの乗り入れが多い小牧駅からのアクセス利便性を整理し、同様に、名鉄犬山線は岩倉駅、JR中央本線はJR春日井駅に着目し、整理します。

また、バスは、小牧市内のバス停から直接名古屋駅（名鉄バスセンター）へ行くことができる近距離高速バスの名古屋・桃花台線と中央道桃花台バス停発着路線※を対象とし、名古屋・桃花台線は、小牧駅からのアクセス利便性、中央道桃花台バス停発着路線は、中央道桃花台バス停からのアクセス利便性を整理します。

出発駅（バス停）から名古屋駅までの所要時間が最も短いのは、名鉄犬山線（岩倉駅）の約15分、次いで、JR中央本線（JR春日井駅）の約24分となっていますが、それぞれ市外の駅が出発地であるため、駅までの所要時間がかかります。仮に、小牧駅からそれぞれの駅までバスで移動した場合、岩倉駅までは約20分、JR春日井駅までは約30分かかります。従って、小牧駅からの移動を含めた所要時間は、名鉄犬山線では約35分、JR中央本線では約55分となり、さらに駅での乗り換え時間も考慮すると、他の交通手段より所要時間が長くなる場合も考えられます。

一方、名鉄小牧線（小牧駅）及び近距離高速バス（小牧駅、中央道桃花台バス停）による名古屋駅までの所要時間は、約40分となっており、特に近距離高速バスは乗り換えなしで名古屋駅に到着することができます。名鉄小牧線では2回の乗り換えが必要ですが、名古屋・桃花台線や中央道桃花台バス停発着路線と比較して、運賃は安くなっています。

※全系統（名古屋・多治見線（深夜バス（名鉄バスセンター発桂ヶ丘1丁目行き1本）を含む）、西可児線、可児市役所線）をまとめて記載

表Ⅱ-5-12 名古屋駅までのアクセス利便性

	路線名 (着目駅・バス停)	乗り換え回数 (乗り換え先)	所要時間	運賃
鉄道	名鉄小牧線（小牧駅）	2回 (名古屋地下鉄上飯田線・名城線⇒東山線)	約40分※	570円
	名鉄犬山線（岩倉駅）	なし	約15分	350円
	JR中央本線（JR春日井駅）	なし	約24分	320円
近距離 バス	名古屋・桃花台線（小牧駅）	なし	約40分	630円
	中央道桃花台バス停 発着路線（中央道桃花台バス停）	なし	約40分	770円

※乗り換え時間含む

※平成29年4月1日現在